



今後目指す数々の政策 ⇄

「このままでは国が沈んでいく」という危機感が、
私が政治の世界に入ったきっかけです。政治の世界に入って10年。
この思いは今も全く変わっていません。



法律の専門家として、即戦力として。

これからも自民党内で、あるいは内閣の一員となって
政策の実現を進めて参ります。



1 規制改革、税制改革を駆使した経済成長戦略

年率4%以上の名目成長率で、今後10年間で所得を5割アップさせることが目標です。

2050年までのカーボンニュートラルの実現を推進力として、次世代蓄電池やペロブスカイト太陽電池等の技術をいかした新産業の創出を進めます

地域密着型産業
(医療・介護、福祉、子育て、家事支援、教育、農業等)を
規制改革、税制改革によって創出します

成長分野への集中的な投資を進め、
コロナ禍で冷え込んだ経済を立て直し、
景気的好循環を通じて税収を回復させます



贈与税の軽減、寄付税制の拡大等を通じ、
2000兆円近い個人金融資産を活用します

ソフト面(研究開発、人材、IT、デザインなど)への
支援を強化し、地域を支える中小企業の
生産性を向上させます

民間企業や国、地方自治体におけるDX化を推進して
利便性の向上を図り、業務効率を上げて日本経済を活性化
するとともに、日本の国際競争力の強化を進めます

2 日本の競争力の強化

世界標準の合理的な経済政策を進め、閉鎖的な規制や制度を改革することが課題です。

成長する
新興国市場を
国内市場へ取り込みます



自動車・電機・機械等に頼るモノづくり信仰から脱却し、内需型産業とされてきた鉄道、流通(コンビニ、専門店)、物流、教育、福祉、農業、飲食、食品といった産業の海外進出を強力に支援します

日本コンテンツの
海外展開を
目指します

エンターテインメントの海外人材の育成、海外で稼げる法整備(レコード演奏・伝達権の新設)を推進します

